

とちの木

学校教育目標
やさしい子
かしこい子
たくましい子

令和3年6月1日発行 No.3

〒370-2306 富岡市相野田711番地2

TEL 0274-62-3004 FAX 0274-62-3972

富岡市立小野小学校 渡辺 浩

群馬県の新型コロナウイルス感染症に対する「まん延防止等重点措置」が5月16日～6月13日に富岡市に適用され、感染拡大防止への取組の強化が呼びかけられております。そのため、学校においても子どもたちが楽しみにしていた様々な行事が中止・縮小を余儀なくされています。保護者、地域の皆様のご理解に感謝いたします。

しかしながら、この状況下の中で子どもたちは、精一杯努力していろいろなことに取り組んでいます。子どもたちの様子を見て、我々周りの大人は、何でもあきらめるのではなく、「未来に向かって今を懸命に生きる子どもたちの思いをどうすれば実現できるのか。」ということを常に念頭に置き、環境を整えていくことが大切なのだと思います。

「コロナ禍だから、何もできなかったかわいそうな時代の子どもたち。」ではなく、「コロナ禍にも関わらず、懸命に生き、やり遂げた子どもたち。」として、今日を明日に、そして未来につなげられるようたくましく育てほしいと心から願っています。

【行事等の変更について】

新型コロナウイルス感染症による拡大防止のため行事等の予定や内容を変更します。

〈妙義青少年自然の家体験学習（5年）〉

5月に予定していた5年生の妙義青少年自然の家体験学習を2学期に延期します。

5月19日（水）→10月11日（月）・12日（火）

〈ふるさとウォークラリー〉

6月3日（木）に予定されていた「ふるさとウォークラリー」及び「自由参観」は、中止とします。

〈体育の水泳指導（プール学習）〉

群馬県独自の警戒度が「4」であることや集団感染につながる3つの条件（換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場面）が同時に重なる場を避けることが難しいものと判断し、本年度の「プール学習」は実施せず中止とします。

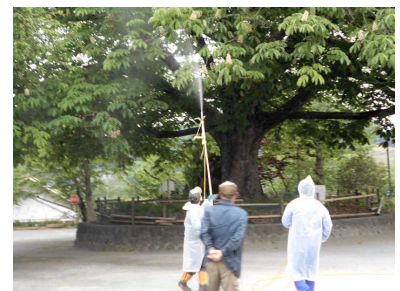
〔対外行事〕

6月以降予定されていた下記の行事は中止となります。

〈よい歯と口のコンクール〉〈県水泳記録会〉

*** PTA奉仕作業 ***

5月15日の土曜日、PTA奉仕作業が行われました。地域住民の新井昭三様、新井茂様にご協力いただき、PTA本部役員の方が「とちの木の消毒作業」及び「校庭の樹木の消毒作業」を実施しました。たいへんお世話になりました。



6月の予定

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 3日（木）心の相談員勤務日 | 17日（木）内科検診（5年） |
| 7日（月）前期思いやり旬間（18日まで） | 心の相談員勤務日 |
| 全校朝礼（人権講話） | 22日（火）委員会（4～6年） |
| なかよし集会 | 24日（木）スクールカウンセラー勤務日 |
| 8日（火）内科検診（1年） | 心の相談員勤務日 |
| 10日（木）内科検診（3年） | 29日（火）クラブ（4～6年） |
| 心の相談員勤務日 | 30日（水）学校保健委員会（4～6年） |
| 15日（火）クラブ（4～6年） | 〈外部からの参加者なし〉 |

GIGAスクール構想

GIGAスクールという言葉を目にしたことはあるでしょうか。情報提供も含めてこのGIGAスクールについて触れたいと思います。

GIGAスクール構想は、2019年12月に文部科学省が打ち出したもので、2023年度までに児童・生徒一人一台端末の整備と高速ネットワークの整備を行うものです。文部科学省では、GIGAスクール構想として、さらにICT環境整備を進め、児童生徒一人一台のPC端末を整備し、これから変容する社会を担う子どもたちの資質・能力を一層確実に育むためにPC端末の積極的な活用による「学びの変容」を図る教育ICT環境を実現するとしています。

昨年度、全国における新型コロナウイルスの感染症が蔓延する中、このGIGAスクール構想が加速化されました。構想の早期実現を図り、オンライン化等、学校の長期における臨時休校にも対応できる学習環境の整備を進めることが急務となったことが後押ししたと考えられます。（GIGAとはGlobal and Innovation Gateway for Allの略。）

学校内でも、ネットワークの構築や各教室に置かれる端末の充電保管庫（端末を入れておいて自動的に充電できる保管庫）の設置等の環境が整い、一人一台端末（以後タブレット）の使用も始まりました。

GIGAスクール構想では、基本的にタブレットを使って、学校の授業の中で「一斉学習」「個別学習」「協働学習」等を行うこととなります。しかし、口で言うほど簡単にはいきません。例えば、大人がスマートフォンを気軽に使うのと同様、子どももタブレットを気軽に学習の道具として使い慣れることが必要となってきます。そのためにも、授業以外の日常の場で、すぐにタブレットが使えるように置き場所を工夫したり、いつでも使えるように働きかけたりすることが求められます。また、タブレットを使った授業について教員が研修し、効果的な授業ができるようにならなければいけません。

さらには、仮に臨時休業になった場合、学校と家庭をつなぐオンライン授業やオンラインの朝の会等の実現も進めていくことになると思います。今後、試行錯誤しながら取り組んでいくことになるでしょう。

ただ忘れてはならないのは、ICTを使うことを目的とするのではなく、あくまでもICTを学習の道具として子どもが成長するということが目的です。いくらICTに詳しくても、本来の目的が達成できないなら、意味がないということです。

下記の文部科学省Webサイトの活用例にもありますように、タブレットで写真を撮影して自分の考えをプレゼンテーションにしたり、AIドリルで一人一人の理解と進度に合った自主的な学習をしたりと活用することで、子どもたちの情報活用能力をはじめ、国が言う「多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育」を進めることができます。

小野小学校では、GIGAスクール構想の実現に向けて指導を行ってまいりますので、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

“すぐにでも” “どの教科でも” “誰でも”使えるICT

🌱 検索サイトを活用した調べ学習

- ・一人一人が情報を検索し、収集・整理
- ・子供たち自身が様々な情報にアクセスし、主体的に情報を選択する



🌱 文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用

- ・子供たち一人一人が考えをまとめて発表
- ・共同編集で、リアルタイムで考えを共有しながら学び合い



🌱 一斉学習の場面での活用

- ・誰もがイメージしやすい教材提示
- ・一人一人の反応や考えを即時に把握しながら双方向的に授業を進める



🌱 一人一人の学習状況に応じた個別学習

- ・デジタル教材を活用し、一人一人の学習進捗状況を可視化
- ・様々な特徴を持った生徒によりきめ細やかな対応を行う

